

保 育 奉 公

大 東 亞 戰 爭 必 勝 完 遂

子等と共に祈り子等と共に誓ふ

倉 橋 惣 三

月の八日の朝。

子等は明治神宮の方面に向つて整列してゐる。遊園の體操の時以外、こうして廣い室に揃ふことの少ないのに、毎月この日は、立派にきちんと整頓してゐる。先生方も不動の姿勢をとつて列側の位置に立つ。

君が代合唱二回。合唱となるは大聲を張りあげて調子を破る連中が、けふは落ちついて、おどなの用語でいへば肅然と歌つてゐる。

一人の先生が子等の列の前へ進んで、正面向きに立つた。心なしか子等も姿勢を正した。先生の敬禮にならつて、子等も一齊に敬禮する。

カミサマ

ニツボンノ クニヲオマモリ クダサイ

イクサラ シテキマス ニツボンノ ヘイタイタチヲ オマモリ クダサイ

エウチエンノ ミンナデ オネガヒマウシ アゲマス

先頭の先生がこの祈禱の間、子等は小さい頭をさげて、しんんとしてゐる。先生の敬禮といつしよに、子等の敬禮が行儀よくつく。

先頭の先生は少しく胸を張つて、聲に力を籠めて唱へる。ニツボンハ ツヨイ

子等が聲を一ぱいに張りあげて繰りかへす。ニツボンハ ツヨイ

先生は更に力を籠めて。コノ イクサニ キツト カツ 子等のつゞける聲も一段と強い。

ワタクシタチモ キツト ヨイコニ ナリマス

多少長い三番目の句を、一といきに子等がつゞける。なかに幾人か呼吸のそるはぬのが列側の先生方の耳に却つて可愛らしく聞える。

先頭の先生は恭々しく敬禮をして、もとの位置に歸る。子等と顔をあはせれば、きつと顔をくすす此の先生が、この場ではにこりともしない。此の先生に對してはいつとも直ぐ笑顔になる

子等も、ちつと先生の目を見て聲も出さない。ピヤノが響く。うみゆかは……

子等はわれに歸つたやうに肩を動かして唱ふ。「おとぎみの へにこそ しなめ かへりみはせじ」

子等にしてはむづかしい言葉であるが、今から誓ふ日本臣民の誓ひである。

(戦時幼稚園小景 二)